

2024 年度 関私教協 第 11 回幹事校会議事録

1. 日時：2025 年 2 月 17 日（月）18:30～19:50

2. 形態：オンライン会議

3. 出席者：

【幹事】高瀬 幸恵（桜美林大学・事務局長）、尾高 進（工学院大学・事務局次長）、
岡田 佳子（芝浦工業大学・事務局次長）、
山下 暁子（青山学院大学）、黒住 早紀子（駒澤大学）、
青木 研作（東京成徳大学）、大家 まゆみ、河野 誠哉（東京女子大学）、
黒沢 学（東京電機大学）、木之下 健一、須藤 和代（目白大学）、
五十嵐 清子〔白石 一徳代理〕（文化学園大学）、森田 満夫（立教大学）、
斎藤 遼太郎（茨城キリスト教大学）、北村 篤司、横澤田 朋美（昭和音楽大学）、
小澤 真紀（芝浦工業大学）、古橋 真紀子（東京成徳短期大学）

【事務担当】岩井 瑞恵（桜美林大学）

【オブザーバー】福岡 尚子、仲村 啓介、山崎 恭輔（千葉工業大学）、
大川 洋（国際基督教大学）、鶴殿 篤（東京家政大学）、佐藤 英二（明治大学）、
山本 由美（和光大学）、清水 由（桐蔭横浜大学）、黒岩 友見子（桜美林大学）

4. 幹事・新幹事の自己紹介

5. 2024 年度第 10 回幹事校会議事録の確認

- ・高瀬事務局長より、第 10 回幹事校会議事録（案）が示され、これを承認した。

6. 協議

【報告事項】

（1）研究部の活動について

- ・第 1 部会：第 3 回の部会を 3/16（日）10:30～ハイフレックス形式で会場を昭和音楽大学として実施する。アンケートの項目を検討する予定である。
- ・第 2 部会：3 月中旬に部会を実施しようと調整している。
- ・第 3 部会：第 4 回の部会を 3/13（木）に芝浦工業大学豊洲キャンパスで対面方式にて実施する予定である。
- ・第 4 部会：3/15（土）に帝京短期大学で部会を実施する予定である。
- ・第 5 部会：特になし。
- ・第 6 部会：2/26（水）に介護等体験におけるハラスメントに関するアンケート調査の質問紙の内容についてオンラインで検討を行う予定である。
- ・第 7 部会：特になし。
- ・第 8 部会：第 3 回目の部会を 3/13（木）青山学院大学で実施する。テーマを教師教育実践から考える再課程認定の脱構築として、田村真広先生（日本社会事業大学）を講師として招く。
- ・千葉・茨城地域：2/21（金）に第 2 回の研究会をハイフレックスにて行う。千葉県、茨城県の育成指標に基づく教員育成と教員養成をテーマとして、県の教育庁から講師を招き講演をしていただく。その後、情報交換を行う予定である。
- ・神奈川・山梨地域：2/22（土）に協議会を実施する予定である。
- ・北部地域：特になし。

（2）『会報』第 97 号の編集について

- ・河野広報副部長より、資料に基づき説明があった。原稿の依頼に遅れがあったため、研究懇話会に関する校正原稿提出の締切を 2/25 から 3/4 に訂正する。

（3）ホームページについて

- ・高瀬事務局長より、関私教協の HP に不具合が生じていることが報告された。現在、HP 担当の芝浦工業大学が対応している。

(4) 全私教協の研究交流集会について

- ・高瀬事務局長より、2025 年度の研究交流集会の担当は関東地区となっている旨の説明があった。この件について 1/31 (金) に全私教協事務局と打ち合わせを行った。会場を千葉工業大学津田沼キャンパスとして情報交換会を含めて開催される予定である。日程は11月か10月の土日が候補となっている。

【審議事項】

(1) 2025 年度幹事校・世話人の体制について

- ・高瀬事務局長より資料に基づき説明と確認があった。2025 年度の事務局次長校は東京家政大学（鶴殿篤幹事）で決定した。会計監査については、事務局次長校が任期終了後の2年にわたって担当する慣例となっているが、2027-2028 の会計監査は別の元幹事に依頼することとした。研究部副部長と広報部副部長については決まらない状況にあり、事務局内でくじ引きを行うこととする。和光大学の小野方資先生については4月に着任されるので、第6部会の世話人担当については仮の扱いとし、4月にご意向を伺い決定したい。以上のことについて承認した。

(2) 2025 年度定期総会・合同研究大会に向けた準備について

- ・高瀬事務局長より、資料に基づき説明があった。まず、定期総会の会場と役割分担について確認した。次に、5/11 の全体的なスケジュールについて確認があった。この日は、東教協定期総会、関私教協定期総会、幹事校会、合同研究大会が実施される。幹事校会は対面での実施とする。今回の合同研究大会のテーマ設定や講師依頼など内容に関することは東教協が主導して行うことになっている。1/28 に東教協との打ち合わせを行い、3/18 に会場下見に行く予定である。

(3) 全私教協 2025 年 5 月開催 令和 7 年度定時社員総会・第 44 回研究大会に向けた準備について

- ・5/17 (土) -5/18 (日) に松山大学で全私教協定時社員総会と研究大会が実施される。その準備について、高瀬事務局長より資料に基づき説明があった。関東地区が提供する分科会について、研究部のメンバーと古賀次期事務局長とで相談を行った。その結果、教員養成カリキュラムの歴史と課題（教職教養と教科専門の関係を軸に）をテーマとすることとし、講師については、高橋寛人先生（石巻専修大学）、吉岡真佐樹先生（京都府立大学名誉教授）、牧貴愛先生（広島大学）で決定した。引き続き準備を進めていく。
- ・黒沢研究副部長より、今回のテーマ設定の経緯について説明があった。

(4) 2025 年度第 1 回研究懇話会に向けた準備について

- ・高瀬事務局長より、資料に基づき説明があった。日程は7/20 (日) で確定とする。テーマは、教職課程において教科の専門性をどのように学生に身に付けてもらうかという関心に基づいて「教員養成における教科教育法の運用と課題」が候補となっている。
- ・黒沢研究副部長より、会場の候補は東京電機大学となっていることについて報告があった。研究懇話会と併せて第1回研究部会を実施するため、多くの教室を借りることから費用が高額となる見込みである。これを踏まえて引き続き検討する。

(5) 未加入校への呼びかけについて

- ・高瀬事務局長より、資料に基づき説明があった。未加入校のうち、今回は短期大学を中心に呼びかける提案がなされた。これを承認し、加入を促す書面を送付することにした。

【配付資料】

資料 1 : 『会報』第 97 号編集スケジュール表

資料 2 : 2025 年度 関私教協役員大学担当表

資料 3 - 1 : 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 2025 年度定期総会へ向けて

資料 3 - 2 : 令和 7 年度 関私教協・東教協合同研究大会 (案)

資料 4 : 未加入校一覧

以上